



◎ 出席報告

会 員 数	65名	出 席 率	函 館 北 12月25日	93.55 %
出 席	53名		函 館 東 12月29日	95.24 %
欠 席	12名		函 館 12月24日	94.58 %
他クラブ出席	5名		函館五稜郭 12月25日	100.00 %
出席合計	58名		函館亀田 12月28日	94.12 %
除 外 者	3名			

次回・1月27日  
プログラム

「美しく年をとりましょう」

岩瀬富美子氏

第2510地区 第11分区



1992～1993

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

# 函館北ロータリークラブ会報

クリフォード・L・ダクターマン 国際ロータリー会長テーマ

まことの幸福は人助けから

REAL HAPPINESS IS HELPING OTHERS

伊藤康男会長 今年度のテーマ

“ロータリーは楽しく、ロータリーは優しく、そしてわずかの厳しさを、”



阿寒岳足寄より（昭和56年作）故池田甚三郎画伯

《第1428回例会》 第28号 1月27日（水）

本日のプログラム

「美しく年をとりましょう」

岩瀬富美子氏

★会 長 伊藤 康男

★幹 事 藪下 義晴

例会場：函館国際ホテル 〒040 函館市大手町5-10 TEL 23-5151  
例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 事務所：函館市大手町5-10 二子ロビル3階 23-3870

1992～1993

〈第1427回例会〉第 27 号

1月20日の記録

◎司 会 伊藤 康男 会長 ◎斉 唱 手に手つないで

◎ピジター 函館R.C.伊藤隆夫君・白木正人君

ローターアクト 石井直美君・中島久雄君・佐藤昭男君

◎会長報告 伊藤 康男 会長

- 1993年～1994年度のガバナーノミニーが決定いたしました。札幌R.C. 富原 薫君を1992年～1993年度地区ガバナー指名委員会において指名した旨の連絡が来ておりますので回覧いたします。

◎委員会報告

•交換学生委員会 新 博夫 委員長

ニキ・パーサーがオーストラリアに無事着きましたとの連絡がございました。皆様に長い間お世話になり、本当に有難うございました。特にお預りいただいたホームステイの御家族の方にはお世話にご厚く御礼申し上げます。今日遺愛高校へ三沢会員と一緒に御礼の御挨拶に行ってきた。来年度は七飯R.C.で七飯高校で学生を預る事になっており、2月16日に七飯R.C.が旧東大沼にて交換学生の歓迎会を18時30分より開催いたしますので、御出席される方は出席願います。

•北R.C.奨学会委員会 遠藤 尚孝 副委員長

当委員会に5名おりますが、3年間続けて来ましたが今年度で全員終了いたします。1月9日に会長・幹事出席のもとに夕食会を行い奨学金をお渡しいたしました。今年は新たに奨学生を選考しなければなりません。今迄は月7千円でしたが、果してこれで良いかどうか今後の検討課題になると思われま

•ローターアクト委員会 大野 章 委員長

15周年記念式典が2月13日に行われます。理事会にて、全員登録との決定

を頂き有難うございました。この様な場に多くのロータリアンが参加頂き、お互に理解を深められれば結構な事と考えます。

•北部ローターアクト 15周年実行委員長 佐藤 昭男 君

このたびは、15周年記念式典に皆様全員登録をして頂き有難うございます。15周年記念式典も、後一ヶ月に迫り、私達なりに一生懸命やっておりますが、皆様に御協力をお願いする事もあろうかと思っておりますので、その際には是非お力添えをお願い致します。これを成功させ自信をつけこれからのローターアクト活動に生かして行きたいと考えますので、今後共よろしく願いいたします。

◎幹事報告 薮下 義晴 幹事

- 第三期目会費納入の御案内をいたしておりますが、会費の納入が遅れておりますので、行事・活動に支障をきたしておりますので、出来るだけ早く納入をお願いいたします。
- 例会変更のお知らせ、2月10日の例会を2月13日(土)のローターアクト15周年記念式典日に移動しますので、多数の出席をお願いいたします。
- 千葉港R.C.及び和歌山城南R.C.より会報が来てますので回覧いたします。

◎親睦活動委員会 安 健 会員

ニコニコBOX投入報告

川村昭会員……新年会欠席しました。

伊藤 会長……受付御苦勞様です。

中里 会員……本年もよろしく。

三本木会員…… ”

山崎侃会員……早退させていただきます。

安 会員……欠席がちのおわび。

斉藤紀会員……皇太子御婚約お目出度ございます。

平野 会員……新年お目出度ございます。

藤野 会員……ホームクラブ欠席がちのおわび。

大野 会員……皇太子様お目出度ございます。

森 会員……誕生月です。

飯田 会員……本年もよろしく。

村井 会員……皇太子御婚約お目出度ございます。

加藤(久)会員……本年もよろしく。

川村(邦)会員……ホームクラブ欠席がちのおわび。

石上 会員……BOXに協力。

加藤(備)会員……皇太子殿下・雅子様のお婚約を祝して、平成元年9月皇太子殿下がお泊りになった時、召し上がったのと同じメニューを殿下が実際にご使用になった食器でお召し上りいただきます。当ホテル8階ビュメールで提供しておりますので、記念して。

#### ◎卓話 「ヨーロッパ漫遊」 中里 重則 会員

北海道生産性本部の労資幹部交流視察団の一員として、時間短縮に関する課題と言うテーマで行って参りました。期間は昨年9月13日より25日迄、ドイツ・スイス・フランスと駆け足の旅でございました。一行は労資交流の幹部で労組の委員長、企業側は労務担当の管理職、以上の構成で事務局を含めて21名、添乗員を入れて22名です。ドイツの場合は、ドイツ金属労組と云って日本で言いますと金属労連に匹敵する位の大きな単産です。経営者側はドイツ使用者団体連盟、日本で言いますと経団連又は日経連に匹敵すると考えられます。それぞれ2時間づつミーティングを行いました。フランスの場合には、フランス労働総同盟とフランス経団連、やはり2時間づつミーティングを行いました。ジュセルドルフの三菱銀行の支店長、その他の人々と10年位支店を開設以来来っているが実際に休暇の消化状況、その他日本の企業としてどうかと言う実情を伺いました。ドイツの場合、現在、92年現在、週労働時間が37時間で、95年迄に35時間にすることが単産と政府の間で取り決められている。これに従わなければ罰則等があるそうです。色々推移を聞いてみると、後10年位は35時間で行かざるを得ないのではなからうか。企業を経営して行く場合、労働時間と賃上げと良質な労働力を確保する事が全く同じ位の比重が必要である。ドイツの場合賃上げがある一定のレベル迄行ってしまった結果、ここ10年位労働時間短縮に大きなウェイトがさかれているために、一番大事な良質な労働力の確保と言う点に若干問題

が出てきて、限りなく労働時間を短縮すると言う点には相当問題が出ているし、経営者側はむしろ延ばしてもらいたいとの要望が出ている。年間労働時間は公式には、1,650時間が91年の西独の労働時間です。日本では91年で対比いたしますと、2,100時間位と公式に言われております。従って相当進んでいる事は間違いありません。但し、問題点もあります。それは東独の統一です。現在労組の調査では、労働賃金が西独100に対し東独側は50である。従って95年迄に西独と東独の労働条件を統一するビジョンが出ているが、相当難かしいものと考えられるのが実情である。労働時間も150時間位東独の方が長くなっているのが実情である。西独と東独との賃金、労働時間の点で大変な格差が生じている事に、経営者も労組側も非常に頭をなやましています。これが統一されなければ、本当の意味でのドイツ統一にはならないと言っている。もう一点は、東独の経済力が想像以上に落ちており、年間1,500億マルク位の援助を西独側で行っているとされています。又、時短とか賃金とか労働条件を向上する事は大変結構であるが、国際競争力に影響が出てきつつあると言う事が労組側も経営者側も言っていた。日本と大きな差を感じた点は階級制である。西独の場合は小学校4年生でブルーカラーになるかホワイトカラーに進むか進路が別れてしまう点である。それで仮にブルーカラーに進んだ場合は、一生その道を進む事になり、これ等の人達が労組(民間官庁を含む)を占める事になり95%にもなっている。又、残りの5%の人達が管理者・経営者になり、全く別の勤務をしている訳です。日本と大きな違いは、会社で勤務時間を決め就業規則に折り込めば、社長も一般社員も全く同じ勤務時間を適用される点でありますので西独とは大変な違いです。更に有休休暇の問題ですが、5週間ないし6週間あるそうですが、ほぼ完全に経営者も労働者も消化いたしております。又、傷病休暇もそれ以外に与えられています。病気の際は労働時間・有休休暇に関係なく休みを取れる様になっております。この辺も日本の休暇の消化率とも大きな違いでなからうかと思えます。ドイツの総論としては、西独はそれなりに非常に工夫をしている点だと思えます。例えば、フレックスタイムのようなものが多く活用されている点だと思えます。労働時間に関しては、申し上げた様に厳然と守られているのです。その他には、終身雇用が全く考えられない事から、企業に対する忠誠心と言ったものは、全く考えられず、概念が全く違います。職場の変更、つまり適材適所と言った考え方



も無いので、休暇も平気で取りますし、いろんな背景の違いもある訳で、日本に於いて時短を実施するには、非常に先進的な参考例として日本に於いては独自の時短を選択するのが正しい方法ではなかろうかとの感じを強くしました。

その他フランスでの時短の方法とか実例をあげて御説明をいただき、今後、私達も真剣に考えなければならず、大変参考になりました。

◎ 出席報告

会 員 数	65名	出 席 率	函 館 北 1月13日	90.16%
出 席 席	37名		函 館 東 1月12日	90.59%
欠 席 席	28名		函 館 1月 7日	97.58%
他クラブ出席	18名		函館五稜郭 1月 8日	100.00%
出 席 合 計	55名		函 館 亀 田 1月11日	94.23%
除 外 者	4名			

次回・2月3日 「国際奉仕に関するロータリーの綱領」  
**プログラム**  
 小笠原 孝 会員



# 函館北ロータリークラブ会報

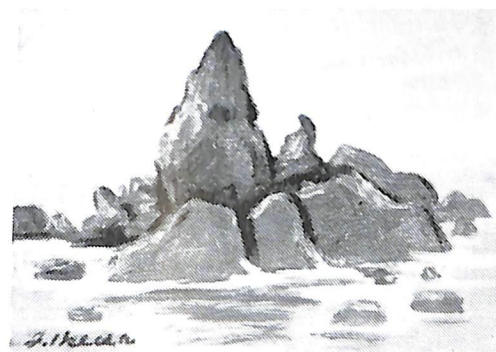
クリフォード・L・ダクターマン 国際ロータリー会長テーマ

まことの幸福は人助けから

REAL HAPPINESS IS HELPING OTHERS

伊藤康男会長 今年度のテーマ

“ロータリーは楽しく、ロータリーは優しく、そしてわずかの厳しさを、”



岩 小 谷 石 (昭和57年作) 故池田甚三郎画伯

《第1429回例会》 第 29 号 2月3日 (水)

本日のプログラム

“国際奉仕に関するロータリーの綱領”  
小笠原 孝 会員

★会 長 伊藤 康男      ★幹 事 薮下 義晴

例会場：函館国際ホテル 〒040 函館市大手町5-10 TEL 23-5151  
例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 事務所：函館市大手町5-10 二子ロビル3階 23-3870